

らぬい
くま

不知火海・球磨川流域圏学会

NEWS LETTER

平成 31 年度 総会報告

会計報告

平成 31 年度研究会報告

令和 1 年 度第 1 回 現地見学会記録・坂本

新会員紹介

平成 31 年度大会案内

令和 1 年 度第 2 回 現地見学会案内

つる 祥子

酒井 米夫

つる 祥子

北川 昇

辻 泰明

つる 祥子

高平 雅由



27

2019 年 9 月 20 日 発行

令和 1 年 度第 1 回 現地見学会で訪れた藤本五所神社で集合写真

平成 31 年度総会報告

つる 詳子



平成 31 年度の大会は、八代市坂本町で開催され、平成最後の大会となりました。坂本町は 2005 年 8 月 1 日に八代市と合併。町の中を球磨川が流れ、その真ん中付近に荒瀬ダム（2018 年 3 月撤去）がありました。旧坂本村の時代、一番多かった人口は 18000 人を超えていましたが、現在は 4000 人を切っています。しかし、ダム撤去後、町にも再び活気が生まれつつあります。今大会はそんな坂本町での開催となりました。

1) 開催日・会場

日時：令和元年 6 月 1 日（土）午前 10 時 30 分～ 11 時 30 分

会場：坂本コミュニティセンター 3 階会議室

出席者：43 名（出席者 22 名 + 委任状 21 名）

2) 総会式次第

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 開会 | 司会：亀井真由美 |
| 2. 会長挨拶 | 会長：堤 裕昭 |
| 3. 議事 | |
| ①議長選出 | 議長：齋藤為男 |
| ②平成 30 年度事業報告 | 総務：つる 詳子 |
| ③平成 30 年度会計報告 | 会計：坂井米夫 |
| ④会計監査報告 | 監査代理：上村雄一 |
| ⑤平成 31 年度事業計画案 | 総務：つる 詳子 |
| ⑥平成 31 年度予算案 | 会計：坂井米夫 |
| ⑦閉会挨拶 | 副会長：時松雅史 |

3) 平成 30 年度事業報告

1 平成 30 年度大会

総会 日時及び会場：6 月 2 日（土）午前 10 時半 水俣環境アカデミア

研究発表会 日時及び会場：6 月 2 日（土）水俣環境アカデミア



①

基調講演「梅北の乱の時期の水俣城」 ①

2 第1回現地見学会 ②

日時：6月3日（日） 参加者：24名

テーマ：「水俣の棚田、茶畑、森林を巡る」

コース：水俣城駐車場集合 → 基調講演「梅北の乱の時期の水俣城」土砂災害痕
→ 久木野愛林館 → 寒川地区棚田 → 寒川水源亭（昼食） → 伐採跡地 →
桜野園（茶園） → 解散



②

3 第2回現地見学会 ③

日時：10月21日（日）

テーマ：「水上村周辺を巡る」 参加者：17名

コース：湯前まんが美術館 → 市房山キャンプ場（1時間程度のトレッキング） →
昼食（セラピー弁当） → 千光山生善院（通称猫寺） → 水の上の市場等

4 ニュースレター発行（年2回）

第25号（2018年9月15日）、第26号（2019年3月20日）

5 学会誌発行（Vol.12）平成30年8月31日発行

6 HPリニューアル shiranui-kuma-gakkai.com

7 理事会開催（6回）

平成30年8月10日 県大環境共生学部 参加者：7名

10月26日 県大環境共生学部 参加者：6名

12月14日 八代市大黒屋 参加者：10名

平成31年2月22日 県大環境共生学部 参加者：7名

4月27日 八代市鶴之湯旅館 参加者：10名

令和元年5月24日 県大環境共生学部 参加者：10名



③

4) 平成30年度会計報告

5) 平成31年度事業計画

1 平成31年度大会

総会 日時及び会場：6月1日（土） 坂本コミュニティセンター

研究発表会 日時及び会場：6月1日（土） 坂本コミュニティセンター

基調講演「魅力がいっぱい、坂本の建築物」

2 第1回現地見学会 6月2日（日）「坂本町内の歴史や文化を辿る」

コース：鶴ノ湯旅館館内 → 葉木集落 → 荒瀬ダム撤去サイト → 五社宮 → 「和嶋」
（昼食） → 八竜山展望台 → 道の駅 → 百済来地藏堂 → 鶴ノ湯旅館（解
散）

3 第2回現地見学会 10月20日（日）「長島町の景観と食から見えるもの（仮テー

マ) 裏表紙参照

- 4 「残したい水ものがたり」第3回目 推薦地公募及び候補地選定
- 5 ニュースレター発行 年2回 (第25号9月、第26号4月発行予定)
- 6 学会誌 vol.13 発行 令和2年6月末日発行予定
- 7 ホームページの充実 <https://www.shiranui-kuma-gakkai.com>
- 9 理事会開催 6回/年
- 10 会員拡大 目標130名(令和元年5月31日現在 会員85名)

6) 平成31年度予算案



会計報告

坂井米夫

30年度予算			
(収入の部)			
名目	内容	金額	備考
個人会費	3000円*90名	270,000	
団体会費		0	
繰越金		105,331	預金99121円口座6210円
雑収入	学会誌・PDF販売等	10,000	
	発表会参加費 寄付金	50,000	
計		435,331	
(支出の部)			
名目	内容	金額	備考
発送料	90名	45,000	発送+ハガキ
学会誌作成費	印刷	100,000	
学会誌編集費		30,000	
ニュースレター作成	2回/年	50,000	
事務経費		40,000	コピー、チラシ等
HP維持費		5,000	
会場費	会場費	20,000	役員会・総会・発表会
雑費	講師謝礼	10,000	
予備費		135,331	
計		435,331	

30 年度決算会計

(収入の部)			
名 目	内 容	金 額	備 考
個人会費	3000 円 * 60 名	180,000	
団体会費		0	
繰越金		105,331	預金 99121 円口座 6210 円
雑収入	学会誌制作残金	12,286	
雑収入	発表会参加費 寄付金	53,550	発表会 23000 円見学会残
計		351,167	
(支出の部)			
名 目	内 容	金 額	備 考
発送料	85 名	31,488	送料+ハガキ
学会誌作成費	印刷費	100,000	
学会誌編集費		0	
ニューズレター作成	2 回/年	42,410	2 回
事務経費		9,455	コピー、チラシ等
H P 維持費		5,000	
会場費	会場費	5,800	総会・発表会
雑費		4,570	
繰越金	振込口座・信用組合	152,444	信用組合 144804 円
計		351,167	

監査 沢畑亨

元年度予算会計

(収入の部)			
名 目	内 容	金 額	備 考
個人会費	3 0 0 0 円 * 90 名	270,000	
団体会費		0	
繰越金		152,444	預金 144804 円口座 7640 円
雑収入	学会誌・PDF 販売等	10,000	
	発表会参加費 寄付金	50,000	
計		482,444	
(支出の部)			
名 目	内 容	金 額	備 考
発送料	90 名	45,000	発送料+ハガキ
学会誌作成費	印刷	100,000	
学会誌編集費		30,000	
ニューズレター作成	2 回/年	50,000	
事務経費		40,000	コピー、チラシ等
H P 維持費		5,000	
会場費	会場費	20,000	役員会・総会・発表会
雑費	講師謝礼等	20,000	
予備費		172,444	
計		482,444	



平成31年度研究発表会は、総会と同じ会場で午後から開催されました。基調講演「魅力いっぱい！坂本の建築」に続き、6件の口頭発表と8件のポスター発表が行われました。口頭発表は坂本町や坂本町下流の宮地地区に関する発表で、地元からも多くの参加があり、地元学としての様相が強い発表会となり、坂本をよく知ることができました。当日参加されてない皆様には、当日配布された発表要旨をニュースレターと主に送らせていただきます。

1) 13:30 基調講演 (13:30 ~ 14:30)

「魅力いっぱい、坂本の建築物」 ❶

森山学 (熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科教授)

2) 口頭発表 (14:30 ~ 17:30)

① 「紙漉きの里を守る - 宮地和紙と周辺景観の保存」 ❷

磯田節子 (八代宮地紙漉きの里を次世代につなぐ研究会代表、熊本高等専門学校特命客員教授)

② 「荒瀬ダム撤去と球磨川と河口干潟の変化」 ❸

つる 詳子 (自然観察指導員熊本県連絡会会長)

③ 「食べて祀って～流域に残る祭りとそのお供え物の意味～」 ❹

坂本桃子 (はちりゅういずむ事務局長)

④ 「さかもと八竜天文台の立地条件」 ❺

稲葉洋一 (さかもと八竜天文台台長)

⑤ 「隠れ念仏と坂本」 山本隆英 (坂本町西福寺住職) ❻

⑥ 「製紙工場－熊本の近代化」

上村雄一 (月刊くまがわ春秋 編集主幹) ❼

3) ポスター発表 (12:30 ~ 13:30) ❸

・「写真で見る昭和40年7月3日 球磨川大水害時の旧坂本村」



❶



❷



❸



❹

つる 詳子

- ・「地上レーザスキャナによる樹高計測のための樹幹形の解析」
越河一樹（熊本県大・環境共生）・溝上展也（九大・農）・山本一清（名大・農）・井上昭夫（近大・農）
- ・「菊池川河口域に生息するヤマトシジミ（*Corbicula japonica*）の
個体群動態に豪雨が及ぼす影響」
立石 朋・松岡佳子・小山愛佳・嶋田祐輝・須賀康貴（熊本県大院・
環境共生）・堤 裕昭（熊本県大・環境共生）
- ・「佐敷干潟における捕食防止柵を用いたアサリ高密度集団再生実
験」
松岡佳子・西岡祐玖・北川 昇・立石 朋（熊本県大院・環境共生）・
藤芳義裕（FU バイオカルチャー）・堤 裕昭（熊本県大・環境共生）
- ・「文献にみるスイゼンジノリ生息状況の変遷」
野宮岳人（熊本県院・環境共生）・一宮睦雄（熊本県大・環境共生）
- ・「炭素・窒素安定同位体比分析による荒尾干潟の底生生物群集の
食物網解析」
須賀康貴・立石朋・松岡佳子・小山愛佳・嶋田祐輝（熊本県大・院・
環境共生）
- ・堤 裕昭（熊本県大・環境共生）
- ・「緑川河口干潟におけるハマグリ分布と季節変動」
小山愛佳（熊本県大院・環境共生）
堤 裕昭（熊本県大・環境共生）
- ・「白川河口干潟におけるアサリ個体群の動態を制御している要因」
嶋田祐輝（熊本県大院・環境共生）
堤 裕昭（熊本県大・環境共生）



5



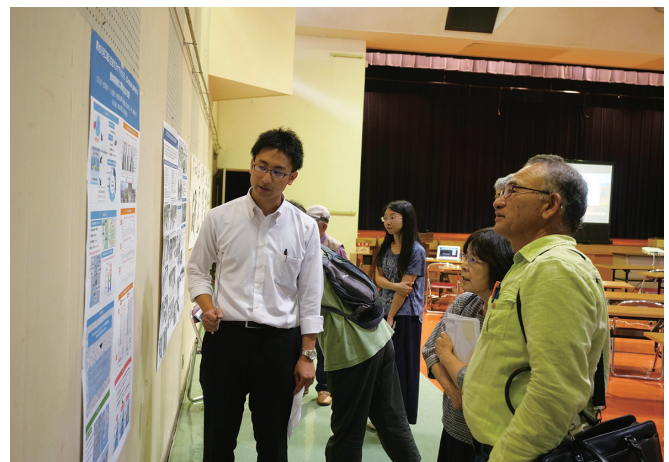
6



7



8



令和1年度 第1回

現地見学会記録・坂本

熊本県立大学 北川昇



6月2日(日)、令和元年の第1回の現地見学会が八代市坂本町において開催された。参加者18名その内、外国人留学生3名という国際色豊かな見学会となった。午前9時に昭和29年に創設された木造3階建ての鶴の湯旅館に集合し、まずは旅館内部の見学を行った。

鶴の湯旅館の入り口①は、名前の由来になった、鶴が左側に2羽据え付けられていた。また、千鳥破風が三層になった見事なものである。玄関に入ると訪問客の歓待のため右側に床の間がしつられており、天井板は矢張り天井②、それを支える骨組みはサルぼう天井(天井を支える木材に面取りをしたもの)であった。

2階は宴会場になっており③、川を見渡せるように、川側はガラス窓④となっている。宴会場舞台には旅館名となった鶴の絵が描かれていた。

旅館の川側から温泉が湧出している。また、ダムが出来てから川沿いは桜の木が植栽された。

次に葉木の集落へと4台の車に分乗して向かった⑤。ここは、もっと上の集落を集めて作った集落で、上葉木と下葉木の二つの集落があり、その各々にお堂を持っている。この地域が栄えていた頃には川原に相撲の土俵を作り楽しんでいたそうである。また、お堂は神仏集合の名残で神と仏と一緒に祀っているそうである。お堂の本社は阿蘇神社であるため鷹の彫



①



②



③



④



⑤

刻が施してあった。お堂の天井板は集落の人が、一枚ずつ、絵師が描いたものを寄進したそうである⑥。

その後、井川を見学した。これは水道のない時代、沢の水を貯めて飲用水として貯めて使用していた名残だそうである。現在この集落全体の軒数は80軒であるが、その内27軒が空き家であり、高齢化率も70%を越えているそうである。

この集落見学中にSLが通過する時間となり線路際まで下がりSLを見学した⑦。久しぶりに、石炭の匂いを嗅ぎ昔の思い出に浸った。

この後、また車に分乗して荒瀬ダム跡を見学した⑧。このダムは高さ25m、長さ250mあった。水力発電用のダムで有りこのダムを作るときには、観光客が来てお金を落としてくれるということであつたが、来た観光客は八代市内からが多く、あまりお金を落としてはくれなかった。

また、電源開発により地域が潤うということであつたが、このダムが出来てから、ダム底に泥が溜まり、水害が多発するようになった。

この後、藤本五所神社に向かった⑨。この神社は782年～806年頃相良氏が建立したとのことで、球磨川を背景に南を向いて建てられている。本殿は大正時代に

建て替えられ、本社は阿蘇神社だそうである。

竜神が祀っており、これが航海の安全を祈願しており、キリンも彫刻が施してある。キリンは海の上を走ると言うことで彫ってあるそうである。

また、水運の神様も祀っており、この神社の下が船だまりになっていたゆえんでもあった。この神社は坂本で一番大きな神社でもある。

次に和嶋で昼食となった。球磨川名産の鮎料理を提供していただいた⑩。ここの鮎は川で漁獲した鮎を2～3日水槽で飼育してから食事として提供するそうである。こうする事によって鮎の臭みが取れるそうである。

次に向かったのが八竜天文台であつた⑪。



⑥



⑦



⑧



⑧

残念なことに当日は雨となり雲がかかり、天気が良いとよく見えるという八代の市街地も全く見通せることが出来なかった。

また幸か不幸か天文台の専門職員もおらず、本来ならば有料な所を無料で中を見せていただくことができた¹²。45口径の望遠鏡は目的とする星座に直接向けるのではなく、一度小型の望遠鏡で見当を付けてから標準をあわせるということである。小型のプラネタリウムも投影していただいた。寝転がってみる星座は気持ちが良く寝てしまいそうであった。職員の話によると火曜水曜が休みで、予約していくと望遠鏡での観察が出来るということであった。しかし、帰りが夜中になるので、下山の時は鹿にぶつからないよう注意をして欲しいとのことであった。

道の駅「坂本」にて小休止をした。この名物はサツマイモのボタモチということであったが、これは5月で終了し、6月からはミョウガ餅と言うことなのでこれを購入し、帰宅途中で食した。素朴な懐かしさを感じる味であった。

最後に、百済来地蔵堂を見学した丸¹³。この地蔵堂は聖徳太子に仏教を教えたという日羅という人がこの地で生まれた所だそうである。この人は百済に渡りその地で高官になり、欽明天皇にその才を

認められて、日本に帰国したが、政治的に受け入れられずに部下に暗殺されてしまったそうである。この地蔵¹⁴はこの日羅さんが自分のお父さんのために地蔵を祀った所であるという説明があった。

ここでの見学が終了し鶴の湯に向かい解散した。この見学会にあたって、資料説明に従事してくれた、八代高専の森山先生に深く感謝を申し上げる。



10



13



11



14



12

新会員紹介 辻 泰明

国立大学法人熊本大学

くまもと水循環・減災研究教育センター柿本研究室研究員
熊本市中央区水前寺在住／NPO 法人熊本まちなみトラスト理事
熊本産業遺産研究会／水前寺活性化プロジェクト／帯西応援隊



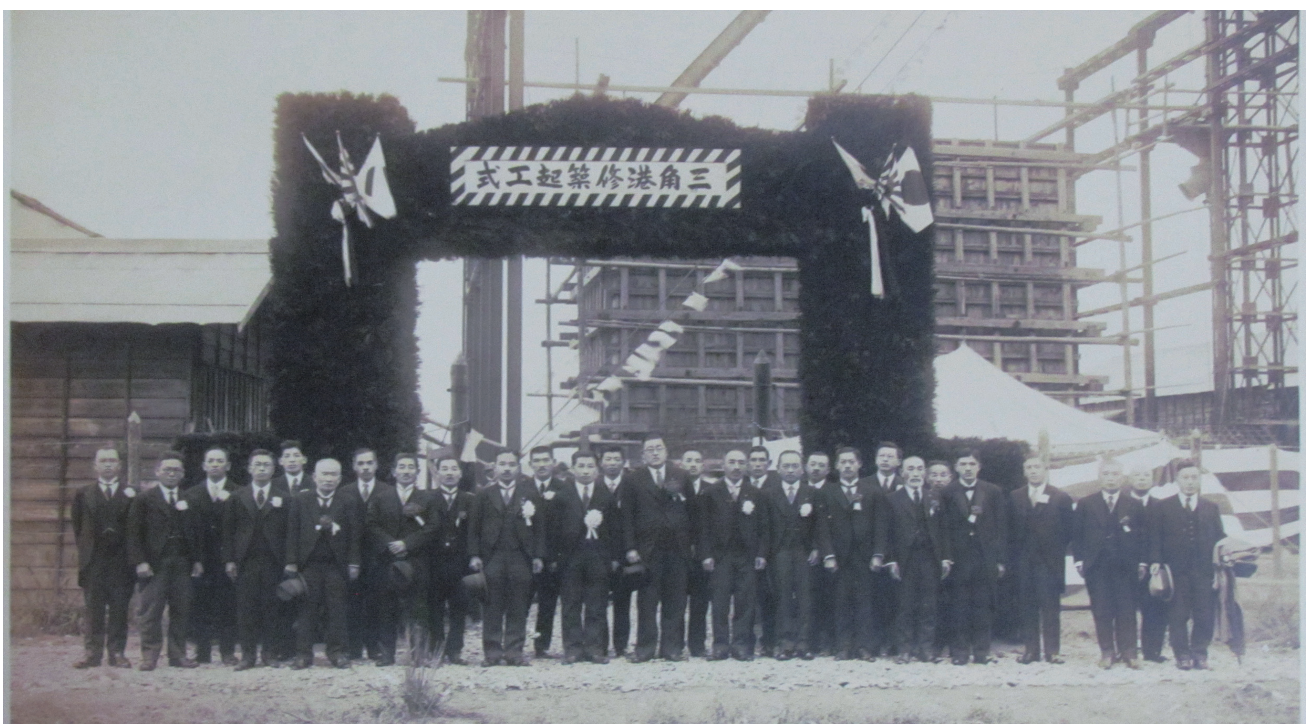
この度、令和元年6月1日の平成31年度総会・研究発表会に際して入会申しました熊本大学柿本研究室研究員の辻と申します。熊本地震総合調査に携わっており、主に災害史を研究しています。9月24日には、宇城市不知火町松合地区の高潮災害から20年の節目を迎えます。

職務と並行して取り組んでいるのが、宇城市三角町の三角東港で20年前まで祖父が経営していた産婦人科医院・辻医院建造物の保存・活用の道筋の模索です。祖父母の他界で2年前に空き家となり、解体するか残すかの葛藤の日々が続いています。

辻医院の開設者で私の曾祖父にあたります辻始は、大正末期から昭和19年までの三角東港修築に尽力し、昭和9年から20年まで三角町長を務めました。昭和22年の没後、頌徳碑が建立され、毎年、みすみ港まつりで三角西港築港功労者の富岡敬明らとともに顕彰されている人物です。大正14年4月竣工の医院建設で、棟梁を務めたのが熊本を代表する地方ゼネコン・岩永組創始者の岩永喜久太郎。

12月25日に開業120周年を迎える九州鉄道三角線の隧道・橋梁などの建設資材であるレンガ工場跡地にあり、周辺には今でもレンガくずを見ることができるなど、三角町の歴史が詰まった宝箱のような建物です。

宇城市の「サンカクドライブ春のキャンペーン」に合わせて2回の東港歴史まち歩きを開催し、地域の方に建物の価値を知ってもらうことから活動を始めています。歴史まち歩きにご興味のある方は、是非ともご一報ください。旧辻医院が、佐敷駅舎とともに築100年を祝えることを目指しています。



令和1年度第2回現地見学会

「長島町の景観と食から見えるもの（仮テーマ）」

長島町は鹿児島県最北端の町で、九州本土と長島間の黒之瀬戸は日本三大潮流に数えられ、干潮時には大渦が発生することが知られています。また入り組んだ海岸線を持つ島々では日本一の生産量を誇るブリの養殖が行われています。温暖な気候と重粘土の赤土壌という特性をいかして馬鈴薯の栽培も盛んです。今回は島の景観を楽しみながら長島の食と食の現場を味わう見学会です。ふるってご参加ください。

*昼食予約の都合上10月15日までに申し込みください。



日時：令和1年10月20日（日曜日）

コース（変更もあります）

集合：9:10 出水駅新幹線改札口前駐車場

渦潮展望台 9:50

渦潮は満潮から引き潮のとき見られるのですが、当日の満潮は12時50頃なので渦潮を見ることはできませんが黒之瀬戸海峡の風景をお楽しみください。

大陸食堂 11:00

地元漁協直営の食堂です。予約の都合上ちょっと早い昼食になります。お腹をすかして参加してください。

東町漁協見学（未定・申し込み中） 12時00分

日本一のブリの養殖現場（加工場）を見学します。

針尾公園 13時10分着

展望台から北を望めば、雲仙天草国立公園が視界いっぱいに広がり、眼下には「薩摩松島」と呼ばれるの不知火海南端の島々。天気の良い日には、雲仙普賢岳も望めます。

杉本酒造見学 14時00分

焼酎「さつま島美人」蔵元の一つです。試飲も出来るようです。

行人岳 15時20分着

行人岳は長島の山岳信仰の聖地で、江戸時代は修験道の場でした。頂上には蔵王権現や不動尊がまつられています。ここからの眺望も大変すばらしく、天草の島々や出水、水俣、遠くは島原（雲仙岳）や霧島（韓国岳）まで見渡せます。

黒之瀬戸だんだん市場 16時20 17時00分発

道の駅でお土産タイム。長島名産のブリや鯛が水槽の中を勢いよく泳いでいます。水産物の他じゃがいもや焼酎も購入できます。

解散予定 17:30 出水駅